

緑のセンターだより

NO. 160 平成 24 年 7 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ヤマブキ

バラ科ヤマブキ属
Kerria japonica

五月晴れに明るい黄金色の花が冴えるヤマブキは、北海道南部から本州、四国、九州までの低山帶に自生するほか中国、朝鮮半島にも分布します。

♪山吹～朝霧 水車小屋～と唄われるようヤマブキの生育地は、昔なら水車小屋がでてきそうな里山の明るい林の沢沿いや斜面下部などに群生がみられます。茎が細く柔らかく金色の花が連なって垂れ下がる様が好まれ、古くから庭園などに植えられています。

ヤマブキはバラ科ヤマブキ属の一属一種の植物で、高さ 1~2m の落葉低木、幹は緑色で多数叢生し、3~4年経つと木質化し褐色になり枯れてしまいます。枝も緑色で細く無毛、よく伸びて垂れ下がります。5月に小枝の先に花径 3~5cm、5枚花弁の黄色い花を咲かせます。重弁花のものをヤエヤマブキ (*K. f. plena*)、花弁が細かく多いものをキクザキヤマブキ (*K. f. stellata*)、白花のものをシロバナヤマブキ (*K. f. albescens*) といい、園芸種には斑入り葉のフイリヤマブキの品種があります。

属名の *Kerria* は 19世紀のイギリスの植物学者 John Bellendon Ker 氏の名に因み、英語では「イエロー・ローズ」または「ジャパン・ローズ」と呼ばれ、日本を代表するバラ科の花とされています。

なお、茶花などに利用されるシロヤマブキ (*Rhodotypos scandens*) がありまざらわしいのですが、こちらはシロヤマブキ属の落葉低木で、葉は対生し、花弁は4枚で黒い実を着けます。日本では岡山県のみに自生しているといわれ、こちらも耐寒性があり、庭園などに多く植えられています。

ヤマブキの名の由来は山のなかで細い枝がしなやかにそよ風にゆれる様から「山振り」といわれ、万葉集や源氏物語にも出てくるこの「山振り」が訛ったとか、春に咲く花が山を黄金色に染める「山春黄」と書いていたのが「山吹」に変化したなどの諸説があるようです。別名として「棣棠花」^{やまとなづな}、「金棣棠」「地棠」「金盞」「面影草」「鏡草」などがあります。なお「棣棠」とはヤマブキの中國名で、乾燥した花は止血薬に用い生薬名は棣棠花・棣棠です。

ヤマブキと言えば太田道灌の逸話が有名で、ある日道灌が鷹狩りに出たところ、にわか雨に会い、とある農家に立ち寄って蓑を借りようとしましたが、対応した娘は貸せる蓑がないので、「七重八重

花は咲けども 山吹の 実の一つだに 無きぞ悲しき 兼明親王」の古歌に託して、そばのヤマブキの枝を手折り、無言で差し出したところ道灌はその意味がわからず怒って帰ってしまいました。その夜、近臣に娘の話をすると、「実」のできない八重ヤマブキと「蓑」をかけて、蓑一つ無き貧しき身の上を恥じたのでしょうかといわれ、それを知った道灌は、自分の無知を恥じて大いに歌道にはげんだ、というお話です。

絵の具や色鉛筆などにやまぶき色というのがあり、オレンジがかかった黄色で黄金色に似ています。時代劇でヤマブキ色と言えば小判の隠語で、小判がヤマブキ色に似ていることから悪代官が賄ろを要求するのに「山吹色のお菓子」などと使われています。色は黄金に例えるほどきれいですが、花の可憐さから鑑みると残念な使われ方です。
(M. S)



7月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

緑の相談受付	10:00~12:00、13:00~16:00
☆平岡樹芸センター	883-2891 月曜以外毎日受付
☆百合が原公園	772-3511 月曜以外毎日受付 (両センターとも、月曜祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆豊平公園	休館中:7月2日(月)~8月31日(金)

◆秋ハクサイの苗作り

秋ハクサイは7月20日ころ畑に直接種を蒔いても良いですが、畑を有効に活用するために7月15日ころポットなどに種を蒔いて苗作りを行い、夏野菜を収穫した畑に8月10日ころ植え付ける方法を紹介します。

苗作りのポイント

- ・高温には強くないので日中の強い陽射しは遮光します。
- ・ネコブ病の感染防止に細心の注意を払います。
- ・盛夏の育苗・栽培は軟腐病が発生しやすいので、作業時に作物には傷をつけないとともに、アブラムシなどを防除し、虫の食害傷にも注意します。

用土・肥料の準備

- ・苗作り用土にネコブ病の菌が入っていると苗に感染し収穫ができなくなるので、新しい育苗用土を用います。
- ・育苗用土10ℓ当たり「野菜用配合肥料」10g 施用します。
- ・上記用土を9cmビニールポットなどに詰め、種まきの前日に水を十分にかけます。

種まき・育苗方法

- ・準備しておいたビニールポットに4粒ほどの種を蒔きます。
- ・芽が出た時に形の悪い双葉の株、また、本葉が1~2枚になったころ正常な株を残して抜き取り間引きします。9cmのビニールポットで1本残し、育苗します。
- ・育苗日数は25~30日間、本葉が3~4枚程度になったら植え付けます。

植え付け圃場の準備〔ネコブ病と軟腐病対策〕

- ・ネコブ病対策:①排水の良い肥沃な場所を選び、②土のpHを6.5~7.0にします。
- ・軟腐病対策:チツソ肥料が多いと軟腐病に罹りやすくなるので、堆肥を入れるなどして肥沃な土づくりを行い、肥料は少なめにします。

定植

- ・植え付けの2週間前に1m²当たり堆肥を3~5kgと石灰を施します。基肥は植え付けの1週間前に1m²当たり化成肥料100gと、ネコブ病防除にフルスルファミド粉剤(ネビジン粉剤など)を30g施します。また、植え付け直前にコナガ防除にオルトラン粒剤を一株当たり2gを良く混和し植え付けます。

※この時期に植え付ける栽培は天候の影響で石灰欠乏が発生しやすく、十分根が張るまで畑の過度の乾燥を避けます。また、肥料のやり過ぎは石灰欠乏を引き起こしやすくなるので注意します。

秋ハクサイ栽培スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	～	3月
●————▼▼————		◆◆◆◆◆◆◆◆	-----	-----	(◆◆◆)	
種まき	植付け		収 穫	(雪中貯蔵)	(雪中収穫)	

◆ボタンとシャクヤクの花後管理

初夏の6月上旬から豪華絢爛な花を楽しませてくれるボタンやシャクヤクは、花後次のような管理をすると、来年もすばらしい花を咲かせてくれます。また、ボタンの樹が「高くなり過ぎて困っている」場合は、是非参考にしてください。

1. 花がら摘み

美しい花びらが散り始めたら、花の下の茎のところで切り取ります。

2. お礼肥え（追肥）

花がら摘み後、速効性化成肥料を1株当たり、1握りくらいを株元に与えます。

I ボタン

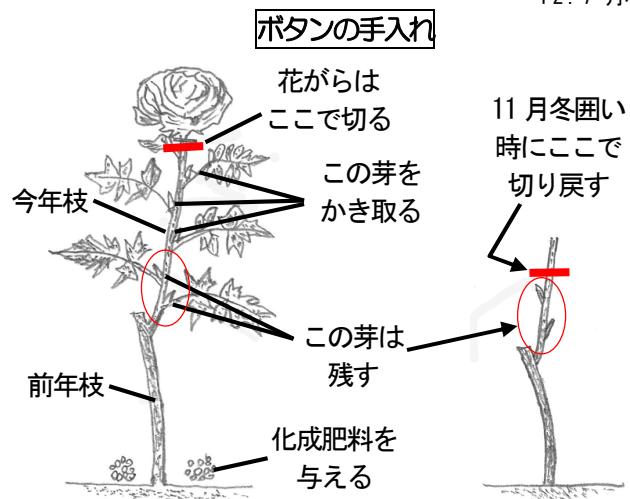
①7月中旬ころ、春から伸びた枝の葉えきに来年の芽が形成されるため、そのままにすると枝の上方に花芽ができます。そのため、今年枝の下の方の芽2~3芽を残し、それより上方の芽をかき取ることで、充実した花芽になり、樹高をある程度抑えることができます。

②11月に、7月に残した芽の上で茎を切り戻し、冬囲いをします。

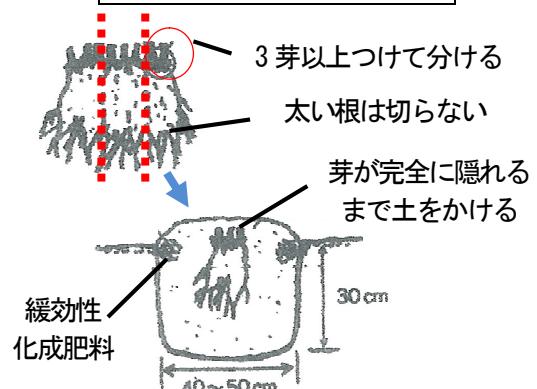
II シャクヤク

①シャクヤクは花後、うどんこ病の発生が多く見られます。花後直ちに殺菌剤（カリグリーン、サプロール乳剤など）を散布し、花がらを切り取る以外は決して茎葉を刈り取らないようにします。

②4~5年に1回、秋に掘り上げ、株分け・植え替えします。この時1株は、3芽以上に切り分けます。芽数が少ないと翌年貧弱な株になってしまいます。



シャクヤクの株分けと植え替え



◆ Q & A ◆

Q 数本のイチイ（オンコ）の中で1本の木だけなのですが、部分的に枝の葉が、茶色になっています。原因はなんなのでしょうか、対策を教えてください。 (南区 Tさん、他)

A ここ数年、「イチイの葉が枯れてきた」原因や対策に関するご質問が増加しています。数本の内、1本に被害が発生している場合、樹木の根を食害するネキリムシ（ナガチャコガネ、ヒメコガネ他）を疑ってみる必要があります。

1. 生態

ナガチャコガネは光沢のある茶褐色で、体長10~12mmほどの大きさです。成虫は地中に潜み6月下旬~7月下旬の黄昏時の午後7時~8時頃に現れ、地表近くを飛びます。交尾後メスは地中にもぐり、深さ6~9cmの深さに卵を点々と30数個を産卵します。卵は2~3週間で孵化し、幼虫は植物の根を食害します。北海道では11月頃まで食害が続き、老熟幼虫（3齢幼虫）となって地中で越冬します。翌春は4月下旬から再び地表付近に移動して根を食べ始めます。5月下旬・6月上旬ころ蛹になり、羽化は6月中下旬に始まりますが、新成虫はしばらく地中にとどまり地上での活動はやや遅れます。

2. 防除方法

- | | |
|----|--|
| 成虫 | ①6月中旬~7月上旬フォース粒剤などを散布土壤と混和します。
②6月下旬~7月下旬の黄昏時の午後7時~8時頃発生する成虫を補殺します。 |
| 幼虫 | ①若齢幼虫は7月下旬~8月中旬スミチオン乳剤の1,000倍液を5ℓ / 1m ² 土壤灌注。
②幼虫には8月下旬~9月、10月中旬にもスミチオンを同様に灌注します。 |

3. 加害樹種

幼虫はイチイ、マツ類、ヒバ、シャクナゲ、ツツジ、カエデ、ライラック、サクラ、芝生、シバザクラなどの根を食害し、成虫はリンゴ、ナシ、スマモ、ブドウ、ウメ、モモの葉を食害します。



7月～8月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

平成24年7月2日(月)～8月31日(金)の期間、緑のセンターを補修するため休館いたします。

緑の相談は百合が原公園緑のセンター、または、平岡樹芸センターをご利用ください。

園地、テニスコートは通常通りご利用できますが、

テニスコートのお申し込み・支払い等は月寒公園売店にて受付します。

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・クラフト講習・実践講座！				
植物でオモチャづくり	8月3日(金)	10:30～	7/11(水)～	300円
昆虫観察ツアー	8月4日(土)	10:30～	〃	130円
樹木博士に挑戦	8月5日(日)	10:30～	〃	300円
押し花に挑戦	8月7日(火)	10:30～	〃	〃
葉脈標本に挑戦	8月8日(水)	10:30～	〃	〃
展示会				
ユリ展	7月1日(日)～7月16日(月祝)		温室入館料130円	
百合が原公園25周年パネル展	7月1日(日)～7月16日(月祝)		コテージガーデン	〃

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
庭木の手入れ④ クロマツ・アカマツの整枝剪定	7月22日(日)	10:00～	7/11(水)～	300円
		13:30～	〃	〃
庭木の手入れ⑤常緑樹を小さくする	8月5日(日)	10:00～	〃	〃
		13:30～	〃	〃
アレンジ講習				
夏のバスケットアレンジメント	7月19日(木)	13:00～	7/11(水)～	3,000円
グラスのアレンジメント	8月9日(木)	13:00～	〃	3,000円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
妹尾優二・三沢勝也水中写真展	7月1日(日)～9月30日(日)	直接会場へ	さけ科学館 582-7555
子りす工房～子どもの日 「木の車を作ろう！」	7月22日(日) 10:00～、13:30～	要申込：300円	西岡公園 582-0050
西岡の森たんけん日記			
ラベンダーフェスタ	7月7日(土)～22日(日)	申込イベント有	滝野すずらん 592-3333
きのたんからの挑戦状	8月1日(水)～19日(日)	駐車料金有 直接会場へ 入園料有	丘陵公園 594-2222
大黒淳一 ハルモニア展	7月27日(金)～8月19日(日)	直接会場へ	モエレ沼公園 790-1231
オト地図あそび	8月5日(日)13:30～	要申込：500円	
夏のチョウチョ観察ツアー	7月28日(土)10:00～	要申込：無料	平岡公園 881-7924
ハイケボタルを観察しよう	8月3日(金)19:30～	直接会場へ：無料	
夏の観察会	7月22日(日)10:00～	直接会場へ：無料	前田森林公园 681-3940

夏休みイベント

サマーフェスティバル

7月28日(土)・29日(日)
10:00～15:00
遊びにより有料です。

川下公園：879-5311

川下公園フレーパーク
7月28日(土) 10:00～15:00
無料。出入り自由。汚れてもよい
恰好でお越しください。

忍者修行～西岡公園の巻

8月5日(日)
13:00～15:00 要申込
参加費：100円・持ち物有

西岡公園：582-0050

のうし夏まつり

7月21日(土)・22日(日)
10:00～15:00 直接会場へ
遊びによりそれぞれ有料です。
農試公園：615-3680

滝野ちびっこフェスタ

8月4日(土)・5日(日)10:00～15:00
5日はアンパンマンも来るよ!
☆駐車料金別途かかります。
エリアにより入園料が必要です。
滝野すずらん丘陵公園
592-3333

円山公園夏休みこどもまつり

8月1日(水)・2日(木)
10:00～15:00 直接会場へ
参加費：100円、一部別途材料費
円山公園：621-0453

※詳細は各公園管理事務所へお問い合わせください。